

令和7年度 中・高等学校「家庭」実技研修（被服） 実施要項

- 1 目的 中学校技術・家庭科（家庭分野）、高等学校家庭科における実践的・体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れた授業づくりについて、実験・実習や演習等を通して学び、衣食住、消費生活等に関する知識・技術と実践的な指導力を身に付け、授業力の向上を図る。
- 2 対象 中学校（義務教育学校の後期課程を含む）、高等学校、支援学校（中学部・高等部）の技術・家庭科（家庭分野）又は家庭科の担当教員

募集人数 16名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	8月7日（木） 14:00～17:00	被服実習に関する基礎・基本を学ぶ ーミシンの基本的な扱い・メンテナンス方法についてー 施設・設備の安全管理と学習環境の整備 〔講義・演習・協議〕	ジャノメマシン 点検技術員等 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター附属高等学校（大阪市住吉区苅田4丁目1番72号）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約1,200m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,600m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,500m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
(3) 研修会場に、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
(4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。
(5) 問い合わせ等は、大阪府教育センター高等学校教育推進室（06-6692-1882）まで行うこと。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和7年度 中・高等学校「家庭」実技研修（被服） シラバス

3512

1 目的

中学校技術・家庭科（家庭分野）、高等学校家庭科における実践的・体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れた授業づくりについて、実験・実習や演習等を通して学び、衣食住、消費生活等に関する知識・技術と実践的な指導力を身に付け、授業力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期										○	○	○			
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	被服実習に関する基礎・基本を学ぶ ーミシンの基本的な扱い・メンテナンス方法についてー	ミシンの基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、実習を円滑に進めるために必要な技能を身に付ける。	講義、演習を通して、被服実習に関する基礎的・基本的な知識を学ぶとともに、ミシンの基本的な扱い方やメンテナンスの実習を行う。	
	施設・設備の安全管理と学習環境の整備	被服実習を安全かつ効果的に進めるための施設・設備の管理、学習環境の整備について理解する。	安全に配慮し、効果的に被服実習を進めるための注意事項や具体的な方法について学び、工夫や配慮が必要な場合の対応について協議や情報交換を行う。	事前課題 自校の被服実習室の使用法、施設設備の安全管理、学習環境の整備に関する交流用レポート